

津軽地域ケアネットワーク交流会2015

地域を支える多職種連携の力

青森県介護支援専門員協会津軽支部会
理事 中村公生

青森県介護支援専門員協会 津軽支部会について

- 全国の会員数;24,375人
- 青森県の会員数;1007人
- 津軽支部会の会員数;234人
医師、歯科医師、理学療法士、作業療法士、保健師、看護師、准看護師、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー等
- 賛助会員;22機関
医療機関、介護保険施設、介護保険事業者等

介護支援専門協会 津軽支部会の特徴

- 会員が多職種なのでお互いに尊重し連携の意識が高い
- 役員構成においても各団体の代表者が集まっている
- 会員へのサポート機能(ケアプランチェック、資質向上、事務局体制)

介護支援専門員の役割

- 家族支援
- 介護保険の要(介護保険の利用にあたり)
- カンファレンスの開催(目標の共有)
- 共有だけでなく、目標にむかっているか?
- 利用者、家族へのモニタリング
- 関連機関のスタッフの業務確認

介護支援専門の利点

- 地域で生活している要援護者に身近にいる
- アドボカシー
- 生活が見える
- 地域が見える(隣、近所、商店等)
- 市町村との関係
- 事業所でサポートできる

今後の期待

- 諸制度の狭間を補う
(地域包括システムの期待)
- 多問題家族への支援
(専門機関との連携)
- 主任介護支援専門員の活躍
- 多職種連携⇒多団体連携